

# 自由が丘地区( 期)都市再生整備計画 変更概要

## 全体計画(交付期間、計画面積、まちづくりの目標、指標等)の変更

変更内容	変更理由・備考		
	変更前	変更後	
計画期間の延長 交付期間の延長	H23年度～25年度	H23年度～27年度	計画策定時には、3年間の計画とし、その後、中期計画の策定等について検討することとしていたが、今般の目黒区の財政状況から、計画を見直し2年延伸し5年間とし、この間に優先的に整備すべきものを選択し街づくりを進めることとなった。その後の計画策定については、財政状況、地元要望等を総合的に勘案し判断することとなった。
指標の歩行者数の目標年度の変更	H25年度	H27年度	高質空間形成施設(回遊ルート案内板)の事業期間の変更に伴い、目標年度をH25年度からH27年度に変更することとなった。

## 交付対象事業別の変更

交付対象事業	変更概要	変更理由・備考
地域生活基盤施設 (情報板)	交付対象事業の追加	期に計画化されたが整備できなかった駅前情報板整備を、事業追加する。
高質空間形成施設 (回遊ルート案内板)	事業期間の変更	平成24年度に事業を行う予定であったが、地元協議の結果、平成27年度に事業を行うこととした。
高質空間形成施設 (路側帯のカラー舗装)	交付対象事業の削除	緊急財政対策の影響により、路側帯のカラー舗装の整備箇所の見直しを行った結果、緑ヶ丘小学校周辺及び緑小通り等の路側帯のカラー舗装を行わないこととし、その代わりに、より優先度の高い女神ストリート:ひかり街前の路側帯のカラー舗装を行うこととした。
事業活用調査 (事後評価調査)	事業期間の変更	計画期間を平成23年度～平成25年度から平成23年度～平成27年度に変更したため、事後評価調査の実施年度を平成27年度とした。
まちづくり活動推進事業 (街づくり協定策定支援)	交付対象事業の事業量・事業期間の増加	計画期間を平成23年度～平成24年度としていたが、地元の検討状況から、平成23年度～平成25年度に変更した。